



2月4日

第28回 松前町公民館研究大会 平成18年度 松前町生涯学習推進大会 開催

松前総合文化センター広域学習ホールで、第28回松前町公民館研究大会・平成18年度松前町生涯学習推進大会が約700名の参加者のもと開催されました。



公民館活動功労者表彰

大会に先立ち、公民館役員として20年以上にわたり公民館活動に貢献された方に公民館活動功労者特別表彰が行われ、5年以上公民館活動に参画された13名の方々に公民館活動功労者表彰が行われました。(敬称略)

公民館活動功労者特別表彰受賞者
宗意原分館 合田 則康



公民館活動功労者表彰受賞者
中川原分館 藤田 正三
中川原分館 藤田 和雄
大溝分館 田中 安男
東古泉分館 三好 充
東古泉分館 三好 茂
北黒田分館 山内テル子
新立分館 福島サカエ
筒井分館 豊田 年秋
上高柳分館 足立 桂輔
上高柳分館 松原 忠一

西高柳分館 橋本 芳樹
北川原分館 茂川 桂
北川原分館 宮内 信丈



シンポジウム

松前町民憲章の一つである「力いっぱい仕事に励み、活力のある町づくりに向けて」というテーマで、公民館活動に携わられている3名の方々の意見発表に続き、平成18年度からスタートした、「町民企画講座」について4名の公民館サポーター代表者から意見発表があり、会場の参加者とも意見が交わされました。



発表1 田中安男さん(東公民館大溝分館)

【公民館役員奮闘記】

大溝地区で行われる五大大行事のなか、文化祭での公民館役員の奮闘ぶりにスポットをあて、役員間のコミュニケーションを強めることにより、行事を成功に導いていることについて発表されました。

発表2 尾崎充利さん(西公民館社宅分館)

【仕事と町づくりの両立】

社宅分館の役員は東レの中堅社員が多く、多忙を極める仕事の合間をぬって、子どもを主役とした親子参加型の事業を展開し、社宅内の結びつきを強められていることについて発表されました。

発表3 宮内信丈さん(北公民館北川原分館)

【頑張っています北川原】

北川原分館での三大大行事などの紹介、また、ミニ体育館を備える北川原集会所で行われている様々なサークル活動が、地域住民のふれあいの場、交流の場となっていることについて発表されました。

発表4 本田真一さん・香出克巳さん・相原君子さん・大川政子さん(公民館サポーターグループ代表者)

昨年度に実施した公民館サポーター養成講座及び今年度からスタートした町民企画講座について、社会教育課職員が事業全体の説明を行い、各サポーターグループの代表者から、今年度の取組みや、今後の課題などについてお話をいただきました。

まとめ (コーディネーター 松山教育事務所
社会教育課長 渡部智磨子さん)



「活力のある町づくり」をするためには2つのキーポイントがあったように思います。一つは、人のために一生懸命尽くすこと、松前流に言うと「義農精神」を忘れないことではないでしょうか。

もう一つは、これからの公民館は住民を巻き込んで、参加から参画へと変革し「自分たちの町は自分たち自らの力でつくりあげる」という意欲を持って取り組んでいくことが大切だと思います。

松前町の花であるひまわりは、一つの種が見事な花を咲かせ、たくさんの種をつけます。一人の努力が輪を広げ、たくさんの方が事業に参画するようになれば町はいきいきと活性化していくはずですよ。

記念講演

「極道の妻たち」「イエローキャブ」などの著者である作家の家田莊子さんに「生きるとは」という演題で、講演をしていただきました。

様々な問題を抱えながらも一生懸命生きようとしている人たちの姿を取材したなかで、家田さん自身が感じた「生きる」ということ大切さについてお話をいただきました。

